

個性多彩な 四つの道場を巡る 「心の旅」 四国遍路

平安時代の僧侶や修験者による弘法大師空海が修行したといわれる聖地への巡礼が始まりと言われ、その後広く一般の人々にも広まり、1200年を超え今なお行われている四国遍路。阿波、土佐、伊予、讃岐を巡る1400kmに及ぶ巡礼路は、心の成長に応じて「発心の道場」「修行の道場」「菩提の道場」「涅槃の道場」と名付けられています。



四国遍路はイスラム教の巡礼にみられるような最終目的地を目指す往復型の巡礼路と異なり、四国二円を巡る回遊型の巡礼路。一度で全て回らなければならぬものではなく、どの札所も同等に位置づけられ、どこから始めてもよく、「十カ所参り」のように何回かに分けて巡る「区切り打ち」「つだけの道場を巡る」「国参り」、順序を逆に巡る「逆打ち」など様々な巡礼の仕方があります。それぞれの思いにあわせた巡り方ができるのも、四国遍路が今なお多くの人々に親しまれている理由かも知れません。

多彩な四つの道場を巡り、様々な体験を通して新たな自分と出会う「心の旅」に出かけませんか。

阿波 徳島県 発心の道場



第一番札所 笠和山 一乗院 霊山寺
徳島県鳴門市大麻町板東塚鼻126

阿波は、お遍路への志を固める「発心の道場」。その第一歩を踏み出す第一番札所の霊山寺には、駐車場から仁王門へ向かう入口に「発心」と書かれた赤い門があります。また、境内には、お



霊山寺 発心の門

遍路さんを迎える総合案内所があり、ここでは白衣や金剛杖など、巡礼に必要なものを揃えられるほか、初心者の方からの質問にも答えてくれます。この厄僧のお話では、最近では外国から来られた方は事前によく勉強されている方が多く、日本のお遍路さんに教えることが多いとか。そういう時には分からないことを丁寧に教えて、作法などを記した入門書を渡されたりしているそうです。このほか、地元の人々が飲み物を振る舞ったり、時には道を



霊山寺 総合案内所

案内したり、温かく手助けしてくれ「お接待」と呼ばれる独特の文化が根付いているのも四国遍路の特長です。また、一番から五番くらいまでは札所の間隔が短く、スタンプラリーのように一日で数カ所を巡ることもできます。

このように手助けを受けたり、ほかのお遍路さんの見よう見まねでお参りを繰り返すうちに自然とお遍路に向かう心構えも固まります。ここから弘法大師と共に歩む「同行二人」の旅が始まります。

土佐 高知県 修行の道場



第二十七番札所 竹林山 地藏院 神峯寺
高知県安芸郡安田町唐浜2594

札所の間隔が最も長く厳しい地といわれる土佐は、自らと向き合って苦闘する「修行」の道場。その中でも麓から標高450mの所にある神峯寺を目指して、ひたすら急な坂道を上る「神峯の



神峯寺の庭園

みち」は、車道が出来るまでは四国遍路屈指の難所といわれました。幕末、三菱財閥を築いた岩崎弥太郎の母親は、息子の出世を祈願して、この道を20km離れた家から21日間も日参したそうです。今でも老若男女問わず自らの足で上るお遍路さんはたくさんいます。仁王門からも、さらに続く坂道と石段を上るのは、本当に苦しさとも向き合う修行のよう。病氣平癒に霊験あらたかという鐘楼の裏手の石清水や、石段の両脇に整えられた日本庭園の美しい景観に励まされな



神峯寺から土佐湾を望む

が。苦しい石段を上ったからこそ、達成感もひとしおです。さらに、神峯寺からは、標高約650mにある神峯山空と海の展望公園に向かって遊歩道が続いています。展望台からは、天気の良い日には、足摺岬から室戸岬までを一望。こうした四季折々の自然や景色を堪能しながら四国各地を巡ることができるようもお遍路の醍醐味です。

伊予 愛媛県 菩提の道場



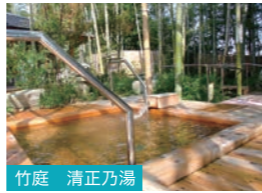
第五十六番札所 金輪山 勸生院 泰山寺
愛媛県今治市小泉1-9-18

はじまりの地から最も遠く、四国八十八箇所めぐりの折り返し地点にあたる伊予は、迷いから解かれる「菩提」の道場。「菩提」とは煩惱を断ち切つて得られた悟りの智慧のことです。伊予の泰



泰山寺 地藏車

山寺は、川の氾濫に苦しむ人たちのために弘法大師が人々を集めて堤防を築き、悪霊を鎮めたという伝説が残る寺院です。民衆を救ったという伝承が多いのも、弘法大師が多くの人々から慕われている理由の一つかも知れません。境内にある「地藏車」は、石塔の丸い輪を回すと六道輪廻の絆を断るといわれ(六道とは地獄・飢餓など衆生が背負う六つの迷界)、訪れた人が一回一徳を願う、それぞれの思いを込めて回しています。また、巡礼しながら周辺のスポットを訪れるのも、



竹庭 清正乃湯

お遍路の楽しみの一つ。泰山寺の近くには、心和む竹林の中で長旅の疲れをほぐすことができます。温泉施設「竹庭 清正乃湯」があります。また、こちらの本館では通常入浴料550円が300円になるお遍路さん向けの割引もあります。心も体もリフレッシュできたなら、いよいよ最後の道場へ。

清正乃湯 愛媛県今治市高橋向谷Z26番地3,4 ☎0898-34-0034 ☺竹庭13:00~24:00、本館10:00~23:00(礼止め22:30) ☹年中無休 ☹入浴料 竹庭800円、本館550円 ☹250台 ※詳しくはお問い合わせください。

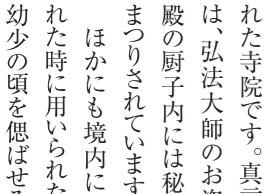
清正乃湯 検索

讃岐 香川県 涅槃の道場



第七十五番札所 五岳山 誕生院 普通寺
香川県普通寺市普通寺町3-3-1

讃岐は結願成就し、悟りに至る「涅槃」の道場。中でも弘法大師生誕の地にある普通寺は、京都の東寺、和歌山の高野山と並ぶ弘法大師三大霊場の一つとされ、「お遍路の聖地」とも呼ばれて

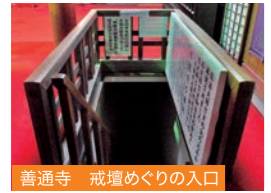


普通寺 産湯井

います。面積約4万5000㎡に及ぶ広大な境内は、「伽藍」と称される東院、「誕生院」と称される西院の東西二院に分かれています。金堂、五重塔などが建ち並ぶ伽藍は唐より帰朝した弘法大師が大同2年(807年)に建立したと伝えられる寺域、御影堂を中心とする誕生院は宝亀5年(774年)に弘法大師が生まれた佐伯家の邸宅跡に建てられた寺院です。真言宗でいう「御影」とは、弘法大師のお姿を指し、御影堂奥の厨子内には秘仏・瞬目大師像がまつりされています。



普通寺 産湯井



普通寺 戒壇めぐりの入口

ほかに境内には、弘法大師が生まれた時に用いられたという「産湯井」や、幼少の頃を偲ばせる樹齢千数百年と伝えられる大楠、入唐留学の折、自身を水面に映し、自像を描いて母君に差し上げたと伝わる「御影池」など、弘法大師にまつわる見どころがたくさんあります。また、御影堂の地下には、真つ暗な中を進み自己を見つめなおす精神修養の道場「戒壇めぐり」があり、まさに自分と向き合う「心の旅」のクライマックスを迎えるにふさわしい地ともいえます。